

両生類・爬虫類

No.	目名	科名	種名(和名)	学名	最終記録年	重要種				外来種
1	無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	2019					VU
2		アマガエル科	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>	2014					EN
3		アカガエル科	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	2018					EN
4			トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	2005			NT	CR	
5			ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	2002					
6		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	2014					CR
7	カメ目	ヌマガメ科	アカミミガメ	<i>Trachemys scripta</i>	2015					特
8		イシガメ科	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>	2002					
9			ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	1985			NT	CR	
10	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>	2019					VU
11		トカゲ科	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	2015					CR+EN
12		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	2016					CR+EN
13		ナミヘビ科	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	2013					CR
14			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	2015					VU
15			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	2018					NT
16			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	1982					CR
17		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydius blomhoffii</i>	1981					CR
確認種数			3目11科17種			0種	0種	2種	14種	2種

注1) 種名及び分類は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(2021年9月19日版)に準拠した。

注2) 重要種 ~ の凡例は以下の通りである。

「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号、改正：平成26年7月13日法律第69号)

国天：国指定天然記念物

「改正・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年7月5日法律第75号、改正：平成30年7月1日)

国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種

「環境省レッドリスト2020の公表について」(令和2年3月27日発表：環境省ホームページ)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 A類、CR：絶滅危惧 B類、EN：絶滅危惧 B類、VU：絶滅危惧 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～2020年版(区部)」(令和3年3月：東京都)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 A類、EN：絶滅危惧 B類、VU：絶滅危惧 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、留：留意種

注3) 外来種は「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」における「特：特定外来生物」及び「未：未判定外来生物」に指定された種とした。

注4) アズマヒキガエルはニホンヒキガエルとの交雑が懸念されているため識別が困難である。Hase, K. and Nikoh, N. (2013) Population admixture and high larval viability among urban toads, *Ecology and Evolution* 3(6): 1677-1691. また、シュレーゲルアオガエルは人為的移入の可能性がある。